

目次

● 原子核分裂の発見——エミリオ・セグレ——

I

中性子による変換／化学での過ち／アルミニウム箔が栄誉をかくした／見かけの超ウラン元素／ベルリン／パリ／暗闇と夜明け／われわれは皆、なんて間抜けだったんだろう／超ウラン元素の証明

● 核分裂研究、原爆開発と私——ヘンリー・バーシャル——

23

核分裂を実証する／戦時研究／ロスアラモス

● フリッツ・ハウターマンズの波瀾に満ちた生涯——イオシフ・フリプロヴィッチ——

45



あとがき——大槻義彦

145

執筆者・翻訳者紹介

149

ゲッチンゲンとベルリン／移住／スターリンの恐怖／NKVDとゲシュタポ、ど  
ちらをとるか？／ロシアに戻る／実力者の時代

「二対一」を貫いた、人間ニールス・ボーア——ジョン・アーチボルト・ウィーラー——

79

テニスのような物理のやり方／勲章、飾りひも、肖像／原子構造、核構造／不確  
定性、相補正／開かれた世界を求めて／勤勉さと責任感

レオ・シラード、予言者にして核時代の病に倒れた人——バートン・ベルンシュタイン——

105

科学者の優位性／余計な忠告／奇抜な考えと希望／知恵のマーケット／希望と絶  
望／見かけ上の可能性を越えて

解説——牧二郎

137